



笠懸小学校は今年も思いやりも日本一を目指します!

やさしく  
たたくしまし  
たたくしまし

笠懸小学校

学校だより No.15 2022.9.5

<https://midori-school.ed.jp/kasasho/>

## 「かさヒマール」に決まりました!よろしくお願ひします。

1学期の終わりに代表委員の働きかけによってネーミングを募集していた笠小のマスコットキャラクターが「かさヒマール」に決定しました。名前の発表については、代表委員のみなさんが、始業式後の全校放送で行い、印象的で楽しく発表できるように、かさヒマールのお面を付け、ジェスチャーを交えるなど工夫をしてくれました。応募については、255名、合計400個以上の案が寄せられたそうです。かさヒマールという名前は、応募案の中で多かった「かさひま」と4年3組の小磯麗奈さんが考えた「ヒマール」を合わせて、代表委員の皆さんが考えて名付けてくれたものです。「かさヒマール」には、下枠のような子どもたちの思いが込められています。思いも含めて皆で親しみ、キャラクターをますます育てていきましょう。

《ネーミングに込められた思い》

勉強も◎、運動も◎、友だちとも◎、笠小の子みんなが◎



名付け親の代表委員のみなさん

## 通学路安全点検の結果を受けた対応について

今年度の5月15日(日)に保護者の皆様にお世話になった通学路点検の結果を受け、7月27日(水)に通学路合同点検を実施し、各箇所に対応方法が決まりましたので報告します。通学路合同安全点検とは、学校と保護者(PTA本部の田村さんに参加いただきました)と地域の区長さん、警察、道路管理者、みどり市担当者が一同に会して危険箇所を確認し、対応策を決定するものです。

対策の内容については、道路の改修や交通規制の強化などの環境要因を早急に改善することはできず、学校での子どもたちへの指導にとどまっている場所も多くあります。しかしながら、下の表の危険箇所にかかわらず、安全な登下校のためには、「自分の安全は自分で守る」という子どもたちの自覚をうながす大人の働きかけが何よりも大切だと思います。学校では、危険箇所を中心に子どもたちへの注意喚起を行ってまいりますので、各家庭におかれましては、ご自宅付近の危険箇所を確認していただくとともに、安全な登下校についてお子さんに改めてお話していただくなど、ご協力をお願いいたします。

危険箇所	危険箇所の状況	対策内容
かさかけ整形外科南の踏切	道幅・踏切幅が狭く、車両速度も速い。日によって、旗振り当番がおらず、止まらない車があり危険。	停止線、「止まれ」の道路標示の塗り直し ※市建設課が対応
かさかけ整形外科南の踏切	全体的に道幅が狭くカーブしている・前方から車の車速も高く、見通しが悪い。	道路拡幅ができないため、グリーンベルト上を歩行するよう指導 ※学校が対応
久宮248-14調整池付近のゴミステーション	調整池近くのゴミステーションが網だけで、通るとたまにゴミが散らばっているため、歩きにくい。	地域へのゴミ出しマナーについて確認 ※区長様が対応 注意喚起の実施 ※市生活環境課が対応
六区公民館交差点	信号が横断歩道を急いでほしい。見通しが悪くトラック多数、スピード出す車多い。急に道幅が狭くなり危険。	横断歩道設置について検討 ※警察が対応
みどりの森動物病院前の交差点	カーブがあり見通しが悪い。車がスピードを出してきて危ない。渡れない。	ドライバーに向けた注意喚起の看板設置 ※市危機管理課 通学路の変更検討と歩行指導 ※学校が対応

大間々世良田バイパス跨線橋南の信号のある交差点	旗振りが1人のため、児童が信号で2方向に分かれると、旗振りがいない横断になることがある。	横断歩道を渡る際の経路を1方向にするなど横断についての安全指導 ※学校が対応
久宮652-7付近の交差点	信号が近く車のスピードが上がりやすい。横断歩道もなく子供が渡るには見づらく渡りにくい。	横断についての安全指導 ※学校が対応
久宮530-44から東に向かう道	道が狭く車が通ると車1台でも危険。	歩き方について指導 ※学校が対応
鹿4093-2の工場付近の交差点	道路が狭く、見通しが悪い。狭いわりに交通量がある。道路沿いに大型トラックが止まっている。フォークリフトが道に出てくる。	通学路の変更について検討 ※学校が対応
鹿4134-12付近	道路標識が曲がっていて危ない。子供がぶら下ってしまいそう。	看板の交換 ※桐生土木事務所が対応
笠懸JA前県道69号線に出る手前	横断歩道がないため、渡るときに危険。	歩き方について指導 ※学校が対応
笠懸幼稚園東側の十字路	朝の交通量が多いが、旗振りの人が配置されていないため、注意して渡らないと危険。	注意看板設置※市危機管理課が対応併せて学校による安全指導
県道69号線の鹿447-3付近のホテル南側の踏切の南側	側溝のふたがガタガタしていて、歩きづらい。	側溝蓋の修理 ※桐生土木事務所が対応
鹿131-2牧場付近Y字路	垣根があるため、右からの車が見えない。	注意喚起の看板設置 ※市危機管理課が対応

## 児童会活動(委員会活動)に期待すること

今年度の児童会活動(委員会活動)は、5、6年生の2学年が活動しています。児童会活動の目的は、異年齢の児童が協力して、それぞれの委員会の視点でよりよい学校となるための課題を発見し、解決方法を考え、役割を分担し、協力して活動していく自治的な活動です。毎日の学校生活の中で様々な活動し、役割をきちんと果たしている5、6年生の皆さんをいつも頼もしく感じています。9月1日(木)は2学期はじめの全員が集合して取り組む委員会活動日でした。ここでは、1学期の活動の振り返りから2学期の計画を立てたり、多くの委員会が実践活動に取り組んだりしました。以下に、各委員会の取組を簡単にご紹介します。



花壇の整備を行う美化委員のみなさん

委員会名	活動内容
代表委員会	9月の生活目標を話し合って決定し、全校に伝える準備をしました。
飼育栽培委員会	復興のひまわり活動で育てているひまわりのお世話や花壇の整備を行いました。
美化委員会	学校内のポスターなどの掲示物の入れ替えや教室の整理整頓状況を確認しました。
給食委員会	9月の給食目標の掲示や、学校給食ぐんまの日に関わる児童集会の準備をしました。
保健委員会	各箇所の消毒液やトイレのスリッパのチェック、早起きをうながすポスターづくりをしました。
体育委員会	各教室のボール点検や、プールの片付けを行いました。
図書委員会	空き教室にあった本を回収し、今の各教室の図書をより充実させるための準備をしました。
放送委員会	1学期のよい活動を2学期に生かす話し合いや、放送機器の使い方の確認をしました。
JRC委員会	ペットボトルキャップの回収で得られる、子ども用のワクチンの学習や回収の準備をしました。

委員会活動は、各教科等で学習した、課題を発見して自分自身や仲間と協力して解決する力を発揮する実践の場でもあります。また、自身の役割を果たしたことが多くの人役に立っていることを実感する場でもあります。さらに、学校をよりよく、美しく、楽しく、安全にしていくための工夫について、自分たちのアイデアによって成し遂げることができる魅力的な活動です。それぞれの委員会で学校全体を動かしていくようなダイナミックな取組がより一層活発になることを期待しています。

